

令和5年度 地域型住宅グリーン化事業

＜ZEH又はZEH水準に求める耐震性能要件等の補足＞

地域型住宅グリーン化事業実施支援室

目次

1. 配分枠とZEH分類について
2. ZEH又はZEH水準の耐震性能要件について
3. ゼロ・エネルギー住宅型の申請での注意点
4. 断熱施工実技研修会について

1. 配分枠とZEH分類について

1-1. 配分枠比較

※詳しくは、マニュアル第1章 令和5年度事業の留意点参照

ゼロエネ型

令和5年度		令和4年度	
型、区分	住宅の性能	型、区分	住宅の性能
ゼロ・エネルギー住宅型	ゼロ・エネルギー住宅型・長期対応	ZEH、Nearly ZEH	ゼロ・エネルギー住宅 (ZEH、Nearly ZEH)
	ゼロ・エネルギー住宅型・ZEH	ZEH、Nearly ZEH	ゼロ・エネルギー住宅 (ZEH、Nearly ZEH)、又は ZEH Oriented
			ゼロ・エネルギー住宅型*1
	ゼロ・エネルギー住宅型・低炭素	ZEH Oriented、認定低炭素住宅	高度省エネ型・ZEH水準かつ構造対応
		高度省エネ型・ZEH水準*1	認定低炭素住宅
		高度省エネ型*2	認定低炭素住宅

「ZEH水準以上であっても壁量計算等による耐震等級1の住宅」及び、「ZEH水準未達の住宅」は、補助の対象となりません。

*1 : ZEH 又は ZEH 水準の住宅、かつ「耐震等級1水準の住宅」

*2 : ZEH水準未達の住宅

1-2. 呼称の簡素化

令和5年度	令和4年度
ZEH	ゼロ・エネルギー住宅 = ZEH (Nearly ZEHを含む)
Nearly ZEH	
ZEH Oriented	ZEH Oriented

1. 配分枠とZEH分類について

1-3. こどもエコ活用タイプにおける本体部分の要件について

本事業とこどもエコすまい支援事業では、ZEH、Nearly ZEH、ZEH Orientedの本体部分に求める住宅性能と提出書類の内容が異なります。物件登録時にこどもエコすまい支援事業に提出する書類の種別に関わらず、本事業は、該当する配分枠に応じて、下表のBELS評価書の取得が必須要件となりますので、ご注意ください。

地域型住宅グリーン化事業			こどもエコすまい支援事業	
区分	住宅の性能	証明する書類	補助対象となる住宅性能	
ゼロ・エネルギー住宅型	ゼロ・エネルギー住宅型・長期対応	ZEH、又は、 Nearly ZEH BELS評価書 ※特記事項『ZEH』又は Nearly ZEH	BELS評価書、住宅性能評価書等	
	ゼロ・エネルギー住宅型・ZEH	ZEH、又は、 Nearly ZEH BELS評価書 ※特記事項『ZEH』又は Nearly ZEH	ZEH水準（強化外皮基準に適合し、再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量が削減される性能を有する住宅）	
	ゼロ・エネルギー住宅型・低炭素	ZEH Oriented	BELS評価書 ※特記事項 ZEH Oriented	
		認定低炭素住宅	認定通知書	同左

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-1. 選択肢の変更

令和5年度	令和4年度
(1) 断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構造計算を実施したものであること	① 断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構造計算を実施したものであること
(2) 階数が2階以下、かつ床面積が500㎡以下で、以下の①、②、③のいずれかを満たしたものであること	② 現行（令和4年4月1日時点）の壁量計算等により構造安全性を確認したもので、以下のイ(1)、イ(2)、ロのいずれかを満たしたものであること
① 「木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準（案）の概要」（以下、「壁量等基準（案）」という。）又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられたもの	—
② 住宅性能表示制度の耐震等級3であるもの	イ(1) 住宅性能表示制度の耐震等級3水準であるもの。
③ 住宅性能表示制度の耐震等級2を満たし、かつ、建築主又は買主へ説明及び同意取得を行うもの	イ(2) 住宅性能表示制度の耐震等級2水準であるもので、かつ、建築主又は買主へ説明及び同意取得を行うもの*。
	ロ 現行（令和4年4月1日時点）の壁量計算により構造安全性を確認したものの（耐震等級1水準）で、かつ建築主又は買主へ説明及び同意取得を行うもの。

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-2. 令和5年度の要件

※詳しくは、マニュアル第1章2.2.2及び別紙3参照

(1) 断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構造計算を実施したものであること

※構造計算とは、「木造若しくは鉄骨造の建築物又は建築物の構造部分が構造耐力上安全であることを確かめるための構造計算の基準を定める件（建築基準法告示昭62年1899号）」に定めるものとし、

構造計算の実施については、建築確認や建築士による確認・証明等によって耐震性能が確認できるものとし、 ⇒ **構造計算による**

(2) 階数が2階以下、かつ床面積が500㎡以下で、以下の①、②、③のいずれかを満たしたものであること

①「木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準（案）の概要」（以下、「壁量等基準（案）」という。）又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられたもの

②住宅性能表示制度の耐震等級3であるもの（壁量計算等により構造安全性を確認したものとし、1-1耐震等級（構造躯体の倒壊防止）における等級3水準であるものとする）

③住宅性能表示制度の耐震等級2を満たし、かつ、建築主又は買主へ下記内容の説明及び同意取得を行うもの*（壁量計算等により構造安全性を確認したものとし、1-1耐震等級（構造躯体の倒壊防止）における等級2水準であるものとする）

⇒ ①～③は、**壁量計算等による**

*床面積300㎡超の建築物については、建築基準法等の改正により、令和7年4月以降、構造計算により構造安全性を確かめることとなるため、構造計算以外の場合には、建築主又は買主に対して、改正後の基準を満たさなくなる可能性があることについて説明を行った上で同意を得ることが望ましい。なお、令和6年度以降は、公布後の壁量等の基準又は構造計算（床面積が300㎡超の場合は構造計算に限る。）により、構造安全性が確かめられることを補助要件とするという方針が国土交通省から示されている。

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-3. 壁量等基準（案）

- ▶ 木造建築物における省エネ化等による重量化に対応するための必要な壁量等の基準（ZEH壁量等基準）については、建築基準法施行令を改正し、令和5年秋頃公布、令和7年4月の施行を予定

木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準（案）の概要

1. 必要な壁量に関する規定（建築基準法施行令第46条第4項等関連）

重量化が見込まれるZEH水準等の建築物について、いわゆる壁量計算における必要な壁量を確認する方法として、個々の建築物の荷重の実態に応じて現行規定より精緻に検証する方法<方法①>を新たに位置づけるとともに、現行規定と同様に簡易に確認する方法<方法②>を用いることができることとする。また、構造計算により安全性を確認する方法<方法③>を用いる場合には、壁量計算を省略することができることとする。

(1) 個々の建築物の荷重の実態に応じてより精緻に検証する方法<方法①>

ZEH水準等の建築物について、建築基準法施行令（以下「令」という。）第46条第4項の規定に基づく、いわゆる壁量計算において、地震力に関する必要な壁量の基準について当該建築物の荷重の実態に応じて計算により求める方法<方法①>を次式のとおり位置づけることとする。

$$\text{当該階の床面積当たりの必要壁量} = (A_i \cdot C_o \cdot Z \cdot R_t \cdot \Sigma w_i) / (Q_o \cdot A_{fi})$$

A_i : 層せん断力分布係数 $A_i = 1 + \{ (1/\sqrt{\alpha_i}) - \alpha_i \} \times 2T / (1+3T)$ 固有周期 $T = 0.03h$ (秒)	C_o : 標準せん断力係数 0.2とする。 ※令第88条第2項の規定により指定した区域の場合は0.3
α_i : 建築物の A_i を算出しようとする高さの部分が支える部分の固定荷重と積載荷重との和 (多雪区域においては、更に積雪荷重を加えるものとする。) を当該建築物の地上部分の固定荷重と積載荷重との和で除した数値	Z : 地震地域係数 1.0とする。 R_t : 振動特性係数 1.0とする。 Σw_i : 実況に応じた荷重 (固定荷重、積載荷重、積雪荷重) により算出 (kN)
h : 建築物の高さ (m)	$Q_o = 0.0196$ (kN/cm) A_{fi} : 当該階の床面積 (m ²)

あわせて、存在する壁量（各階の張り間方向及びびけた行方向に配置する壁を設け又は筋かいを入れた軸組を、それぞれの方向につき、令第46条第4項表1の軸組の種類欄に掲げる区分に応じて当該軸組の長さと同表の倍率の欄に掲げる数値を乗じて得た長さの合計）について、現行規定では耐力要素として見込んでいない開口部まわりなどの腰壁・袖壁等（準耐力壁等）についても、一定の耐震性への寄与が期待できることから、<方法①>の検証の際に存在する壁量に算入できるようにする。さらに、一定の高い耐力を有する壁に係る壁倍率の上限を引き上げるよう見直すこととする。

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-3. 壁量等基準（案）つづき

(2)①「木造建築物における省エネ化による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準(案)の概要」、又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられたもの

【必要な壁量等の基準(案)の概要】

1. 必要な壁量に関する規定（令第46条第4項等関連）【改正】

- ・方法①：壁量計算における必要な壁量の基準について建築物の荷重の実態に応じて計算により求める精緻な方法を位置づけ
- ・方法②：現行規定と同様、簡易に必要な壁量を確認する方法に、新たにZEH水準等の建築物に対応する基準を追加
- ・方法③：構造計算※により安全性を確認する場合は、壁量計算を省略可能※昭和62年建設省告示第1899号

2. 柱の小径に関する規定（令第43条第1項関連）【改正】

- ・柱の小径の確認について、新たにZEH水準等の建築物に対応する基準を追加
(構造計算※（座屈の検討）により安全性を確認した場合は、柱の小径の確認を省略可能）※平成12年建設省告示第1349号

3. 設計上の留意事項

- ・改正事項のほか、ZEH水準等の建築物において設計上配慮することが望ましいものとして、住宅性能表示制度の評価方法基準※で求める規定（床倍率、接合部等）を明示 ※平成13年国土交通省告示第1347号

4. その他（伝統的構法等に関する規定）【改正】

- ・伝統的構法等で用いられる床組等に板張りをを用いる場合の規定※において、ZEH水準等の建築物に対応する基準を追加

※平成28年国土交通省告示第691号第2号関連

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-4. 性能表示制度による耐震等級

- (2)②住宅性能表示制度の耐震等級3であるもの（壁量計算等により構造安全性を確認したものとし、1-1耐震等級（構造躯体の倒壊防止）における等級3水準であるものとする）
- ③住宅性能表示制度の耐震等級2を満たし、かつ、建築主又は買主へ下記内容の説明及び同意取得を行うもの*（壁量計算等により構造安全性を確認したものとし、1-1耐震等級（構造躯体の倒壊防止）における等級2水準であるものとする）

※木造の建築物は、建築基準法上、令第3章第1節から第3節までの規定に適合すること

建築基準法施行令第2節「構造部材等」及び第3章第3節「木造」（令第40条から令第49条）を示す。（第1節は省略）

■ 第2節「構造部材等」

- ・ 構造部材の耐久（施行令第37条）
- ・ 基礎（施行令第38条）
- ・ 屋根ふき材等（施行令第39条）

■ 建築基準法 第3章第3節「木造」

- ・ 適用範囲(令40条)
- ・ 木材(令41条)
- ・ 土台及び基礎(令42条)
- ・ **※柱の小径(令43条)【改正予定!】**
- ・ はり等の横架材(令44条)
- ・ 筋かい(令45条)
- ・ **※構造耐力上必要な軸組等(令46条)【改正予定!】**
- ・ 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口(令47条)
- ・ 学校の木造の校舎(令48条)
- ・ 外壁内部等の防腐措置等(令49条)

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-4. 性能表示制度による耐震等級 つづき

▶ 建築基準法に適合



▶ 【品確法】

構造計算を行わない(壁量計算等)で「住宅性能表示制度の耐震等級2以上」を取得する為には、上記に加えて①～⑥までの適合が必要です。

① 軸組の確認： → 存在壁量が等級に応じた必要壁量以上であること

② 耐力壁線の確認： → 耐力壁線間隔が基準値以内であること

③ 床組等の確認： → 床組、小屋組及び屋根面の存在床倍率が必要床倍率以上であること

④ 接合部の確認： → 胴差と通し柱の接合方法が基準に適合していること及び床組等の外周部の接合の存在接合部倍率が必要接合部倍率以上であること

⑤⑥ 横架材及び

基礎の確認： → 鉛直荷重に対して横架材及び基礎が水平荷重に対して基礎が適切に設計されていること

等級2以上は基準法以上の壁量が求められ、併せて②～⑥の確認も必須です。

※構造計算(例：許容応力度計算)で「住宅性能表示制度の耐震等級2以上」を取得する為には、構造計算規定の適合の確認が必要です。

2. ZEH水準の耐震性能要件について

共通事項

2-4. 性能表示制度による耐震等級 (つづき)

住宅性能表示制度 設計内容説明書 **見本1**

性能表示 事項	自己 評価 結果	評価方法	確認 項目	設計内容説明欄		
				項目	設計内容	記載図書
1-1 構造の 安定に 関する こと	1-1 耐震等級 (倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外	等級	<input checked="" type="checkbox"/> 基準 <input type="checkbox"/> 特認 <input type="checkbox"/> 型式 <input type="checkbox"/> 認証	検証方法 地震力及び 風圧力	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算 (仕様規定)	<input checked="" type="checkbox"/> 伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> スパン表 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎計算書
		3			<input type="checkbox"/> 許容応力度等計算	
		2			<input type="checkbox"/> 限界耐力計算	
		1			<input type="checkbox"/> その他 ()	
		等級			基礎 <input type="checkbox"/> 建築基準法の規定に <input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算による	
1-2 耐震等級 (損傷) <input type="checkbox"/> 評 <input type="checkbox"/> 選	等級	<input checked="" type="checkbox"/> 基準 <input type="checkbox"/> 特認 <input type="checkbox"/> 型式 <input type="checkbox"/> 認証	基礎 <input type="checkbox"/> 建築基準法の規定に <input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> スパン表 () <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 配置図		
3	<input type="checkbox"/> 許容応力度計算による					
2	<input type="checkbox"/> スパン表 ()					
1	<input type="checkbox"/> その他 ()					
等級	横架材 <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input checked="" type="checkbox"/> スパン表 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
1-3 その他	<input type="checkbox"/> 免震 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 基準 <input type="checkbox"/> 特認 <input type="checkbox"/> 型式 <input type="checkbox"/> 認証	免震建築物 <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第1号第3号による免震建築物 ・同告示第2の該当す <input type="checkbox"/> 一号 ・免震層、免震材料の維持 <input type="checkbox"/> 免震材料等の維持 <input type="checkbox"/> 敷地の管理に関する	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 配置図		
1-4 耐風等 <input type="checkbox"/> 選	等級				<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第1号第3号による免震建築物 ・同告示第2の該当す <input type="checkbox"/> 一号 ・免震層、免震材料の維持	
2	<input type="checkbox"/> 免震材料等の維持					
1	<input type="checkbox"/> 敷地の管理に関する					
等級	認定書等活用 <input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第四					
1-5 耐積雪 <input type="checkbox"/> 該 <input checked="" type="checkbox"/> 選	等級	<input checked="" type="checkbox"/> 基準 <input type="checkbox"/> 特認 <input type="checkbox"/> 型式 <input type="checkbox"/> 認証	認定書等活用 <input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第四	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 配置図		
2	<input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第四					
1	<input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第四					
等級	<input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第四					
等級	<input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第四					

住宅性能表示制度
耐震等級の確認箇所

地震力及び風圧力を検討するのに用いた計算が
「壁量計算(仕様規定)」か「構造計算」かをこの記入で確認する
(この場合は「壁量計算、等級3」となる)

▶ **壁量計算等による** ○

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-4. 性能表示制度による耐震等級 (つづき)

住宅性能表示制度 設計内容説明書 **見本3** (この場合は「壁量計算、等級3」となる)

耐震性		
耐震等級 (倒壊等防止) <input checked="" type="checkbox"/> 等級 3 <input type="checkbox"/> 等級 2	構造躯体 構造躯体 (1 - 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算等 横架材 <input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input checked="" type="checkbox"/> スパン表 基礎 <input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input checked="" type="checkbox"/> スパン表 <hr/> <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input type="checkbox"/> 偏心率0.3以下 ※軸組の場合に記入 <input type="checkbox"/> 許容応力度計算+偏心率の検討(告1540号第10第1号) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算(告1540号第10第2号) ※枠組の場 <input type="checkbox"/> その他の計算方法 <input type="checkbox"/> 認定書等の活用 <hr/> <input type="checkbox"/> 限界耐力計算による <input type="checkbox"/> 各階の安全限界変形の基準に適合 <input type="checkbox"/> 平成19年建設省告示第2009号第1第3号にトス色震建築物
その他(地震)		

▶ **壁量計算等による** ○

2. ZEH水準の耐震性能要件について

2-4. 性能表示制度による耐震等級 (つづき)

住宅性能表示制度 設計内容説明書 **見本3** (この場合は「構造計算、等級3」となる)

—必須項目—

性能表示事項	等級表示	確認項目	設計内容説明欄		
			項目	設計内容	
1 構造の安定に関すること	1-1 耐震等級 (倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外 (免震建築物)	等級 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1	構造躯体 及び 基礎等	地震力及び風圧力	<input type="checkbox"/> 壁墨計算による <input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算による(ルート1) <input type="checkbox"/> その他 ()
	1-3 その他	<input type="checkbox"/> 免震 <input checked="" type="checkbox"/> その他		基礎	<input type="checkbox"/> 建築基準法の規定による <input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> スパン表 () <input type="checkbox"/> その他 ()
			横架材	<input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> スパン表 () <input type="checkbox"/> その他 ()	
			免震建築物	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 <input type="checkbox"/> 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成	
			認定書等活用	<input type="checkbox"/> 認定書等の活用	
			限界耐力計算	<input type="checkbox"/> 限界耐力計算による <input type="checkbox"/> 各階の安全限界変形の基準に適合	

▶ **構造計算による** ○

2. ZEH水準の耐震性能要件について

共通事項

2-4. 性能表示制度による耐震等級（つづき）

住宅性能表示制度 設計内容説明書 **見本4** （この場合は「構造計算、等級2」となる）

耐震性		
耐震等級 (倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 等級 3 <input checked="" type="checkbox"/> 等級 2 ※壁量計算等 の場合は等級3 に限る	構造 軀 体 (1 - 1)	<input type="checkbox"/> 壁量計算等 横架材 <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input type="checkbox"/> スパン表 基 礎 <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input type="checkbox"/> スパン表 <input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input checked="" type="checkbox"/> 偏心率0.3以下
	限界耐力計算	<input type="checkbox"/> 許容応力度計算+偏心率の検討(告1540号第10第1号) ※軸組の場合に記入 <input type="checkbox"/> 許容応力度計算(告1540号第10第2号) ※枠組の場合に記入 <input type="checkbox"/> その他の計算方法 <input type="checkbox"/> 認定書等の活用 <input type="checkbox"/> 限界耐力計算による <input type="checkbox"/> 各階の安全限界変形の基準に適合
その他(地震 に対する構造 軀体の倒壊等 防止)	免 震	免 震 建 築 物 (1 - 3) <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 <input type="checkbox"/> 大臣認定書の活用 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成

▶ **構造計算による** ○

2. ZEH水準の耐震性能要件について

共通事項

2-5. 提出書類について

<p>建築士にJ</p> <p>下記物件の完了実績報告に係:</p> <p>【証明する物件名(建築主</p> <p>建築主 断熱 厚一</p> <p>◆ 耐震性能</p> <p>1.対象住宅の耐震性能</p> <p><input type="checkbox"/> 断熱材、太陽光パネル等</p> <p><input type="checkbox"/> 壁量等基準(案)又は公</p> <p><input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐</p> <p>※交付申請で「同意書」を提出し</p> <p><input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐</p> <p>2.対象住宅の施工確認</p> <p><input type="checkbox"/> 提出した耐震性能確認</p> <p>◆ ZEH水準 ※長期優良型、ゼロ</p> <p>1.ZEH水準の性能確認書類 (提出</p> <p><input type="checkbox"/> BELS評価書 等</p> <p><input type="checkbox"/> 設計住宅性能評価書</p> <p>2.対象住宅の施工確認</p> <p><input type="checkbox"/> 提出したZEH水準の性</p> <p>◆ 認定長期優良住宅</p> <p>1.証明する住宅</p> <p>認定番号</p> <p>2.認定取得からの変更の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/></p> <p>◆ 認定低炭素住宅</p> <p>1.証明する住宅</p> <p>認定番号</p> <p>2.認定取得からの変更の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/></p> <p>【要件を現地にて確認し</p> <p>資格 1級 建築士 (</p> <p>※建築士による要件への適合確認を作成するのにより、取組又は取組への参加による証明の記入・証明、本確認での記入・証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることがあります。</p>	<p style="text-align: center;">物件番号</p> <h2 style="text-align: center;">建築士による工事内容確認書 (耐震・ZEH水準・認定)</h2> <p>下記物件の完了実績報告に係る対象住宅について、要件に従って工事が行われ、完了したことを証明します。</p> <p>【証明する物件名(建築主名・買主名)】</p> <table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 50%;">建築主 断熱 厚一 様</td><td style="width: 50%;">交付決定番号 ZC0000 号</td></tr></table> <p>◆ 耐震性能</p> <p>1.対象住宅の耐震性能</p> <table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/> 断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構造計算を実施したもの</td><td style="width: 20%; text-align: center;">2.2.2 (1)</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 壁量等基準(案)又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられたもの</td><td style="text-align: center;">2.2.2 (2) ①</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐震等級3、または、耐震等級3水準であるもの (壁量計算等による)</td><td style="text-align: center;">2.2.2 (2) ②</td></tr><tr><td colspan="2">※交付申請で「同意書」を提出していること</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐震等級2、または、耐震等級2水準であるもの (壁量計算等による)</td><td style="text-align: center;">2.2.2 (2) ③</td></tr></table> <p style="text-align: center;">マニュアル第1章 「2.2.2 ZEH水準の共通要件について」の該当項目</p>	建築主 断熱 厚一 様	交付決定番号 ZC0000 号	<input type="checkbox"/> 断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構造計算を実施したもの	2.2.2 (1)	<input type="checkbox"/> 壁量等基準(案)又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられたもの	2.2.2 (2) ①	<input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐震等級3、または、耐震等級3水準であるもの (壁量計算等による)	2.2.2 (2) ②	※交付申請で「同意書」を提出していること		<input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐震等級2、または、耐震等級2水準であるもの (壁量計算等による)	2.2.2 (2) ③
建築主 断熱 厚一 様	交付決定番号 ZC0000 号												
<input type="checkbox"/> 断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構造計算を実施したもの	2.2.2 (1)												
<input type="checkbox"/> 壁量等基準(案)又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられたもの	2.2.2 (2) ①												
<input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐震等級3、または、耐震等級3水準であるもの (壁量計算等による)	2.2.2 (2) ②												
※交付申請で「同意書」を提出していること													
<input type="checkbox"/> 住宅性能表示制度の耐震等級2、または、耐震等級2水準であるもの (壁量計算等による)	2.2.2 (2) ③												

3. ゼロ・エネルギー住宅型の申請での注意点

R5年度 様式5(ゼロ)

3-1. 工事内容確認書の変更点について

建築士による工事内容確認書（ゼロ・エネルギー住宅型） NO. 1

本報告に係る下記物件が、交付申請のBELS評価書の通り『ZEH』、Nearly ZEH またはZEH Orientedであることを証明します。

適合状況は、「No.1 計算結果」であり、交付決定から変更がある場合は「No.2 設備機器等仕様一覧」の通りに施工されている事に相違ありません。

■工事内容を確認した物件名（建築主名・買主名）

建築主	断熱 厚一 様	交付決定番号	ZC0000	号
-----	---------	--------	--------	---

■対象住宅の適合状況

(1)対象住宅の基本情報

取得したZEHの種類	ZEH
------------	-----

該当する地域区分	6 地域	年間日射地域区分	A4 地域	多雪地域に該当する	<input type="checkbox"/>
----------	------	----------	-------	-----------	--------------------------

一次エネルギー消費量計算における床面積	123.45 m ²	都市部狭小地に該当する	<input type="checkbox"/>
---------------------	-----------------------	-------------	--------------------------

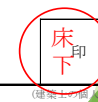
(2)エネルギー削減率(R, R0) および外皮平均熱貫流率(UA)の報告

区 分	基準値	BELS評価値 (交付決定時)	計算結果	左記の計算結果を 建築士が確認した
R0 太陽光を除くエネルギー削減率 (%)	100	125	125	<input checked="" type="checkbox"/>
R 全体のエネルギー削減率 (%)	20	28	28	<input checked="" type="checkbox"/>
UA 外皮平均熱貫流率 [w/(m ² ・k)]	0.60	0.43	0.43	<input checked="" type="checkbox"/>

■工事内容を証明する建築士の概要

証明する日 令和 5 年 ● 月 ■ 日

資格 1級 建築士 ()登録 第 00000000 号 氏名 床下 伝二



(建築士の署名欄)

3. ゼロ・エネルギー住宅型の申請での注意点

3-1. 工事内容確認書の変更点について (つづき)

R5年度 様式5(ゼロ)

建築士による工事内容確認書 (ゼロ・エネルギー住宅型) NO. 2

工事内容を確認した物件名 (建築主名・買主名)

建築主	断熱 厚一 様	交付決定番号	ZC〇〇〇〇 号
-----	---------	--------	----------

※BELS評価値から変更があった場合、変更後の設備機器のみを記入すること

設備機器等仕様一覧 (BELS評価値からの後継機種で性能の変更がない場合はNO.2は提出不要)

設備項目		設備の仕様	
暖房	主たる居室		メーカー名・型番
	その他の居室		メーカー名・型番
冷房	主たる居室		メーカー名・型番
	その他の居室		メーカー名・型番
換気	換気方式		熱交換

交付申請時に提出済のBELS評価書から変更がない場合は、
NO.2の提出は不要です。
(NO.1の提出は必須)

	高断熱浴槽		メーカー名・型番
照 明	主たる居室		調光
	その他の居室		調光
	非居室		人感センサー
太陽光発電	システム容量		モジュール能力/枚 (1枚あたりの出力と枚数)
	メーカー名・型番		
パソコン	メーカー名・型番		パソコン定格負荷効率
コージェネレーションシステム		メーカー名・型番	
液体集熱式または空気集熱式太陽熱利用給湯	メーカー名・型番		

外皮性能(断熱材、玄関扉、サッシ等)変更記入欄 (BELS評価値から変更があった場合のみ記入)

4. 断熱施工実技研修会について

- ▶ 本事業の共通要件で受講を求めている省エネ講習の対象に「断熱施工実技研修会」が加わりました。2025年度の省エネ基準の適合義務化に向けて、全国で行われている研修会です。対面方式なので、日程も案内されています。施工に係る皆様の参加をお願い致します。

令和5年度 断熱施工実技研修会

<https://dannetsusekou.kennetserve.jp/>

オンライン講習も引き続きご利用ください。

改正建築物省エネ法オンライン講座

<https://shoenehou-online.jp/>

- ▶ 以上で、第3部は終了となります。
- ▶ ご視聴ありがとうございました。